

C O N T E N T S

特集

ホスピタリストのための精神科の知識

はじめに | 精神科的問題に適切に対応するための実践的ガイド—— 645

●松木 隆志 Department of Psychiatry, Icahn School of Medicine at Mount Sinai

1. せん妄：予後悪化を防ぐための適切な診断と介入のポイント—— 647

●鄭 素怡 横須賀共済病院 精神科

●松木 隆志

2. アルコール依存症・離脱：内科病棟における問題と管理, 退院前にできること—— 661

●宋 龍平 岡山県精神科医療センター/株式会社 CureApp

●角南 隆史 佐賀県医療センター好生館

3. 薬物と依存症：身近な「病気」として認知されている米国での現状—— 677

●豊島 丈雄 Drug and Alcohol Treatment Clinic, San Francisco Veterans Affairs Medical Center

[コラム①] 薬物以外の依存症：ギャンブル行動症の例—— 692

●豊島 丈雄

[コラム②] 急性精神病疾患：幅広い鑑別疾患を考えつつ, 初発の精神病状態の診断を進めていくプロセス—— 696

●結城 くみ Mount Sinai Family Medicine & Community Health

4. 気分障害：単極性と双極性の病態で, 薬物療法が大きく異なる—— 705

●藤田 弥佑 University of California Los Angeles, Department of Family Medicine

●胡 啓愛 National Institute of Mental Health

5. うつ病：背景や模倣疾患などを含めた全体像をとらえておきたい—— 723

●吉川 真由 Tufts University, School of Medicine

●胡 啓愛

[コラム③] 精神疾患と混同されやすい器質的疾患：急性/慢性の, あるいは発作的な精神症状からの鑑別—— 736

●杉田 陽一郎 東京ベイ・浦安市川医療センター 神経内科

6. 精神科で使用する薬剤の副作用：抗うつ薬, 気分安定薬, 抗精神病薬での注意点を整理する—— 741

●山梨 豪彦 鳥取大学医学部 脳神経医学講座 精神行動医学分野

●篠崎 元 Department of Psychiatry and Behavioral Sciences, Stanford University School of Medicine

[コラム④] 精神科で使用する薬剤と心電図のQTc延長：患者背景にある追加リスク因子に注意する—— 752

●鄭 素怡

●松木 隆志

[コラム⑤] 非定型抗精神病薬の off-label use：疾患ごとの役どころ—— 756

●山梨 豪彦

●篠崎 元

7. パーソナリティ症：患者対応のポイントを押さえよう—— 761

●春口 洸希 Icahn School of Medicine at Mount Sinai/Mount Sinai-Behavioral Health Center

[コラム⑥] 患者対応が困難な状況 (difficult patient encounters)：要因分析と対応方法を中心に—— 766

●鋪野 紀好 千葉大学大学院医学研究院 地域医療教育学

●伊藤 彰一 千葉大学大学院医学研究院 医学教育学

●責任編集 松木 隆志
Department of Psychiatry, Icahn School of Medicine at Mount Sinai
平岡 栄治
東京ベイ・浦安市川医療センター 総合内科

●編集委員 平岡 栄治 (東京ベイ・浦安市川医療センター 総合内科)
八重樫 牧人 (新宿つるかめクリニック/医療法人徳洲会)
清田 雅智 (飯塚病院 総合診療科)
石山 貴章 (セントルイス大学 内科 ホスピタリスト部門)
石丸 直人 (愛仁会明石医療センター 総合内科)
濱田 治 (愛仁会井上病院 総合内科)
森川 大樹 (聖マリアンナ医科大学 救急医学)
●顧問 徳田 安春 (臨床研修病院群プロジェクト群星沖縄)
藤谷 茂樹 (聖マリアンナ医科大学 救急医学)

8. 大人の発達障害：診断と治療の概要, 患者や家族とのコミュニケーションのポイント——771

●表西 恵 ニューヨーク州, ニュージャージー州, オハイオ州認定サイコロジスト/Office of Takashi Matsuki

9. 統合失調症：症状とそれに対応した治療のポイントを理解しておこう——781

●許 善濤・文 鐘玉・竹内 啓善 慶應義塾大学医学部 精神・神経科学教室
●山口 創生 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 地域精神保健・法制度研究部
●新井 さゆり・富田 真幸 医療法人財団厚生協会 大泉病院

10. 不安障害 (不安症)：重複の多い強迫性障害 (強迫症) を含めて——789

●廣田 智也 Department of Psychiatry and Behavioral Sciences, UCSF Weill Institute for Neurosciences, University of California, San Francisco/岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 子どもの発達とメンタルヘルズ講座

[コラム⑦] PNES (心因性非てんかん性発作)：てんかんと鑑別が問題となる——798

●中村 啓信・高木 俊輔 東京科学大学 精神行動医学分野

11. 摂食障害：障害自体の多様化に加え, 種々の精神疾患の併存による多様化もみられる——805

●三井 信幸 北海道大学病院 精神科神経科/北海道大学 保健センター

12. 不眠や入眠困難：睡眠障害の基本知識から具体的アプローチまで——813

●久田 麗奈 Cone Health

[コラム⑧] 日本における精神疾患と法制度：

背景にある地域の精神科医療ニーズと合わせて理解しておこう——826

●竹島 正 大正大学地域構想研究所

[コラム⑨] 患者の判断能力をどう評価する？：

意思表示の背後にある多様な文脈を理解し, 支援アプローチを考える——834

●高松 直岐・久我 弘典 国立精神・神経医療研究センター 認知行動療法センター

連載

ホスピタリストとエキスパートで深読み！ 診療を変える最新論文

第3回 | REVISE 試験——846

●田丸 聡子 練馬光が丘病院 総合救急診療科 総合診療部門
●井上 彰 愛仁会明石医療センター 救急科

Clinician Update ——854

●官澤 洋平 神戸大学医学部附属病院 総合内科
●石丸 直人 愛仁会明石医療センター 総合内科

次号目次——864



編集人——山下 隆久, 高橋 諒

レイアウト・表紙デザイン——公和図書デザイン室 (臼井弘志) / イラスト——ソルティフロッグ デザインスタジオ (サトウヒロシ)

注意 本誌に携わった全員が, 本誌に示す情報が正確で, 実臨床を反映したものとなるよう極力努力した。しかしながら, 編者ならびに出版社は, 本誌の情報をういた結果生じたいかなる不都合に対しても責任を負うものではない。薬物の使用にあたっては, 個々の薬物の添付文書を参照し, 適応, 用量, 付加された注意・警告に関する変化を常に確認されたい。